

平成26年度第2回花巻市行政評価委員会会議録（しごと部会）

1 開催日時

平成26年8月6日（水） 午前9時30分～午前11時

2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園3階第3学習室

3 出席者

委員 6名

影山部会長、小山田委員、瀬川委員、佐藤委員、高橋委員、折居委員
事務局、施策主管課

4 議題及び報告事項

◆施策：観光の魅力向上

- ・施策の目指す姿を「花巻にしかない魅力ある観光地がたくさんあります」としているが、花巻にしかない観光地とは何か。今までにないものを作るということか。それとも既存のものか。
- ・花巻に来るお客さんの一番の目的は何だと捉えているか。
- ・海外からのお客さんの動向はどのような状況か。
- ・花巻には特産品や芸能など、魅力あるものがたくさんあるが、これらを1か所で見せるなどPRを強化してはどうか。
- ・花巻をどうまわってもらうかが課題である。
- ・SL銀河については、花巻への経済効果がないように感じる。
- ・観光イベント事業がそれぞれあり市から補助金を出しているが、補助金額の根拠や、入込客数がどの程度になればその事業は「良」と評価するのか等、何か根拠はあるのか。
- ・イベントが7～9月に集中している。それぞれのイベントが単独で行われており、関連性がないため、点でしかないのでは。
- ・従来イベントを行うだけでは、目指す姿の実現は難しいのではないか。

◇成果指標について

- ・目標を計る指標が少ないと思う。また、目指す姿とマッチしていないと感じる。
- ・施設ごとに、どのくらい人が来ているのか把握するべきである。
- ・イベントによっては入込客数の把握ができないこともあると思われるが、可能な限り把握して成果指標としてはどうか。（成果指標をもっと増やしてもよいといっ

た意見が多数あり。)

◇事務事業について

- ・経済効果をもっと求めるべきである。
- ・市民が自ら参加するイベントを仕掛けてみてはどうか。
- ・各イベントを「点」ではなく「面」で捉えることが重要である。

◇施策の総合的な評価

- ・他市町村との連携も大事だと思うが、花巻が主導してしっかり進めてほしい。
- ・地元住民も巻き込めるイベントとなるような組み立てをしてほしい。

◇記載内容について

- ・施策の目指す姿を掲げているが、そこに向かっていない気がする。
- ・成果指標が少ないことは過小評価になるおそれがある。
- ・成果指標の根拠資料を示してほしい。

平成26年度第2回花巻市行政評価委員会会議録（暮らし部会）

1 開催日時

平成26年8月6日（水） 午前9時30分～午前11時

2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園3階第4学習室

3 出席者

委員 5名

鈴木部会長、伊藤委員、佐藤委員、戸来委員、高橋委員

事務局、施策主管課

4 議題及び報告事項

◆施策：健康づくりの支援

- ・成果指標を市民アンケートから抽出することは問題ないのだが、市民アンケートの対象者が見えにくいので、表の欄外に示しておいたほうがいい。
- ・事務事業評価シートについて、もう少し詳しく記載してもらいたい事業がある。たとえばがん検診について、検診の受診率が低いとあるが、県と比較してなのか、市の目標値と比較してなのか、何をもって低いとしているのか説明がほしい。また、実際の受診率は前年比横ばいで推移しているため、受診の状況は悪くないとも見て取れる。

◇事務事業：健康教育相談事業

- ・うつ、自殺の項目についても挙げてほしい。
- ・うつ、自殺に関しては、家族や職場の上司など、気づいてあげられる人の教育も必要ではないか。

◇事務事業：食生活改善推進事業

- ・事業内容に対する質疑

◇事務事業：健康診査事業

- ・事業内容に対する質疑

◇事務事業：歯科保健事業

- ・事業内容に対する質疑

◇事務事業：感染症予防対策事業

- ・高齢者や成人のみでなく、子どもの予防接種についても明記すると説得力がある
うえ、子育て世代も安心できるのではないか。

◇事務事業：感染症予防対策事業

- ・事業内容に対する質疑

◇事務事業：国保制度健全運営事業

- ・事業内容に対する質疑

平成26年度第2回花巻市行政評価委員会会議録（人づくり・地域づくり部会）

1 開催日時

平成26年8月4日（月） 午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園3階第1会議室

3 出席者

委員 5名

堀籠部会長、中村委員、久保田委員、福盛田委員、木村委員
事務局、施策主管課

4 議題及び報告事項

◆施策：自主的学習の推進

◇成果指標：生涯学習講師新規登録者数について

- ・新規に講師を増やすことのほか、施設の利用率が考えられる。施設使用申込書の使用目的を分析することで可能と思われる。
- ・1回の講習で講師登録するというのは拙速であり、もう少し視野を広げてから講師となるような仕組みの方がよいと思われる。講師が講習を受けた数も重要ではないか。
- ・講師だけ増やしても、魅力がなければ受講者が増えない。講師ごとの派遣回数と受講者数としてはどうか。

◇新たな事業について

- ・たとえば、HP上に「生涯学習掲示板」を設置し、市・民間を問わず、生涯学習の情報を自由に発信・集約・共有できるようにしてはどうか。生涯学習の裾野が広がるよう、イベント日程が重ならないように工夫して人手を確保しやすくするなどの効果もある。

◇事務事業：生涯学習活動支援事業（生涯学習交流課分）

- ・事業内容に対する質疑
- ・生涯学習講師登録した方の半数は講習会に来ない。試験などが無い自己申告制では講師をお願いする方も不安ではないか。講習は1、2回では無理がある。継続して受講できる工夫が必要である。
- ・若い人の参加が少ないとのことだが、講師が若い人であれば、若い人が受講する

のではないか。

- ・若い人たちは夜間の方が来やすいはずなので、アンケートをとってみてはどうか。
また、講座名だけで若い人が参加したいと思えるような工夫が必要である。青年会議所の方に講師を頼んでみてはどうか。
- ・若い人向けの事業は市でしかできないわけではない。市以外との調整の場を設けてはどうか。

◇事務事業：生涯学習活動支援事業（花巻図書館分）

- ・事業内容に対する質疑
- ・16ミリ映写機からDVDにシフトすることで、今後さらに成果が向上するのではないか。

◇事務事業：（仮称）花巻中央図書館整備事業

- ・事業内容・進行状況に対する質疑
- ・結果として、施策への貢献度は最下のランクとなるべきではないか。
- ・紫波町や武雄市などを参考に魅力ある施設を。具体的には、学生が集まる施設、子連れに配慮した周辺施設を含めた整備を。

◇その他

- ・事務事業の成果と施策への貢献度のつながりがわかりにくい。施策の貢献度については、どうしても担当課の主観になるのではないか。客観的に見て納得できる統一的な判断根拠がない。
- ・事務事業の名称が同一のものがある。事業名と内容が直結するようにしたほうがよい。
- ・施策評価シートと事務事業評価シートだけでは、成果指標の達成状況に関する背景・要因がわかりづらい。事務事業実績は達成しているのに施策の成果は下がっているなど。